



令和7年(2025年)8月26日(火)

広島市安佐動物公園 管理課長：田村

担当：企画広報係 梅田、田邊 ☎082-838-1111

【論文掲載】

定説を覆す！？

ケープハイラックスの牙は本当に伸び続けるのか？

安佐動物公園職員が動物園で飼育されていたケープハイラックスの標本を利用し、年齢や性別による上顎切歯の形態の違いを調べた論文が、2025年8月19日に日本哺乳類学会が発行する英文誌 Mammal Study に受理され、オンライン先行公開されましたので情報提供いたします。

1 論文タイトル

Root-like formation of upper incisors in captive rock hyrax (*Procavia capensis*)

訳：飼育下のケープハイラックスに認められた上顎切歯の歯根様組織形成

(著者) 安佐動物公園 飼育・展示課 原 廣史朗



2 掲載雑誌名

「Mammal Study」URL：<https://bioone.org/journals/mammal-study/volume-50/issue-4>

※原文はオープンアクセスではありません

3 論文の内容

- ・ケープハイラックスの上顎切歯(牙)は、雌雄ともに歯根が形成されず一生伸び続けるというのが定説でしたが、動物園で保管されていた標本を調べたところ、加齢とともに歯根のような組織が形成されていることがわかりました。
- ・歯根様組織は、高齢の雌で顕著に確認され、高齢の雄では形成されていませんでした。このことから、雌のケープハイラックスでは上顎切歯の成長がいずれ止まることが示唆され、上顎切歯の成長や形態に性差があることがわかりました。このような性差は、ケープハイラックスの上顎切歯が主に雄同士の闘争に用いられることに関係している可能性があります。
- ・本研究は、どのように動物の歯が環境や機能に適応し進化してきたのかを考える上で、貴重な手がかりになります。今後、組織学的な調査などによって、ケープハイラックスの上顎切歯における歯根形成のメカニズムがさらに解明されることが期待されます。

4 安佐動物公園での飼育状況

現在安佐動物公園では非公開施設で、国内最多の約80頭のケープハイラックスを飼育しています。撮影していただくことはできませんが、飼育個体の画像等をご提供できます。

開園時間 午前9時から午後4時30分まで(ただし、入園は午後4時まで)

入園料 大人510円、65歳以上・小人(高校生及び高校生相当年齢)170円 ※中学生以下無料
※65歳以上の適用には公的証明書が必要

休園日 毎週木曜日(祝日の場合は開園)

納涼 ナイト☆サファリは8月9日(土)～9月6日(土)の土曜日に開催します！